

# 東京都中小企業の景況

平成16年12月21日

景況：連続悪化に歯止め。わずかに持ち直す  
見通し：慎重な見方続く

(平成16年12月調査)

産業労働局 商工部

## 《11月の景況》

◎都内中小企業の業況DIは前月比3ポイント増加し、3ヶ月連続の悪化が止まり、わずかに持ち直す動きとなった。ただし、製造業は6ヶ月間改善のない状態が続く。前年同月比売上高DIはやや改善。また、今後3ヶ月の見通しDIは前月比1ポイント増とほぼ横ばいに推移し、慎重な見方が続く。

○11月の都内中小企業の業況DIは▲35(前月▲38)と3ヶ月連続の減少に歯止めがかかり、わずかに持ち直した。製造業は▲30と連続の前月比2ポイント減になり、緩やかな減少続く。卸売業は▲37と前月比2ポイント増、小売業は▲55と前月比8ポイント増と、ともに3ヶ月連続の悪化が止まった。サービス業も▲24と、前月に比べ2ポイント増加した。

業種区分の特徴は、製造業では前月落ち込んだ「食料品・その他」が大きく改善した。また、卸売業は天候の安定に伴い「建築・住宅関連」が大幅に改善し、昨年10月以来の▲20台となった。小売業は全業種区分で改善し、なかでも「日用雑貨」が非常に大きな増加となった。

○前年同月比の売上高DIは▲32(前月▲34)と2ポイント増加し、前月の悪化分を戻した。業種別には、小売業が前月比5ポイント増、製造・卸売・サービス業が前月比2ポイント増となり、全業種で改善した。

業種区分でみると、製造業では「化学・皮革」が大幅に増加したほか、「食料品・その他」でも改善した。卸売業では業況改善の目立つ「建築・住宅関連」がかなり大きく増加した。また、小売業では「余暇関連」を除く全業種区分で改善した。サービス業は「企業関連」のみわずかに増加。

○前月と比べた仕入価格DIはわずかに増加、販売価格DIはほぼ横ばいで推移した。製造業の仕入価格DIは、全業種区分で5ヶ月連続のプラスとなり、上昇傾向が続いている。製品商品在庫DIは、小売業の「耐久消費財」で再び不足感が強まっている。

○当月と比べた今後3ヶ月(12~2月)の業況見通しDIは▲19(前月▲20)とほぼ横ばいに推移し、引き続き慎重な見方をしている。製造・卸売・小売業は前月水準に比べ3~4ポイント増え、見方にやや明るさを増しているが、前月期待感が膨らんだサービス業の「個人関連」は大きく下げた。

## 景況指数表(業種)

・指標値(%):DI=「良い」・「増加」等企業割合-「悪い」・「減少」等企業割合

調査規模	調査対象企業数	4,250	11月の景況					今後3ヶ月の見通し			
			業況	売上(前上月比高)	売上(前年上同月比高)	仕入(前月比格)	販売(前月比格)	製品商品在庫	業(当月比)	売上(上月比高)	売上(前年同期比高)
全体	回答企業数	1,374	▲35	▲20	▲32	0	▲10	10	▲19	▲15	▲37
製造業	回答率	32.3%	▲30	▲17	▲20	24	▲10	10	▲14	▲13	▲25
	繊維・衣料		▲45	▲31	▲45	7	▲8	14	▲18	▲14	▲27
	木材関連		▲44	▲47	▲50	10	▲28	5	▲23	▲31	▲44
	紙・出版・印刷		▲40	▲17	▲35	3	▲18	5	▲17	▲12	▲42
	化学・皮革		▲30	▲4	▲12	36	1	18	▲16	▲15	▲22
	金属材料		▲21	▲20	▲6	42	▲1	11	▲12	▲11	▲14
	機械器具		▲17	▲10	▲10	26	▲11	10	▲10	▲9	▲17
	食料品・その他		▲39	▲18	▲21	33	▲14	▲1	▲17	▲16	▲32
卸売業			▲37	▲17	▲27	▲10	▲1	16	▲16	▲8	▲37
	衣料身の回り品		▲63	▲30	▲49	▲22	▲14	33	▲19	▲9	▲59
	食料品		▲46	▲21	▲22	▲9	▲5	6	1	5	▲31
	日用雑貨		▲40	▲18	▲47	▲9	3	19	▲19	▲12	▲48
	建築・住宅関連		▲23	▲20	▲26	▲11	▲1	15	▲31	▲25	▲40
	化学・金属材料		▲30	▲8	0	▲3	4	13	▲21	▲2	▲19
小売業	機械器具		▲19	▲8	▲17	▲9	3	9	▲1	▲3	▲26
			▲55	▲27	▲57	▲24	▲18	4	▲32	▲28	▲59
	衣料身の回り品		▲61	▲25	▲57	▲23	▲22	11	▲31	▲25	▲64
	食料品		▲62	▲34	▲63	▲24	▲17	1	▲32	▲29	▲57
	日用雑貨		▲44	▲27	▲54	▲30	▲17	8	▲35	▲39	▲54
	耐久消費財		▲44	▲23	▲56	▲26	▲25	▲11	▲38	▲30	▲60
サービス業	余暇関連		▲55	▲25	▲47	▲15	▲12	10	▲27	▲22	▲64
			▲24	▲18	▲28	-	▲15	-	▲15	▲11	▲31
	企業関連サービス		▲18	▲19	▲20	-	▲16	-	▲13	▲7	▲24
		▲44	▲22	▲51	-	▲13	-	▲23	▲22	▲52	

(注) 1. 調査項目:業況(良い・普通・悪い)、売上高(増加・ほぼ同様・減少)、仕入価格・販売価格(上昇・ほぼ同様・低下)、製品商品在庫(過大・適正・不足)。

2. 売上高:製造業は生産額。

3. 仕入価格:卸売業・小売業は仕入高。

4. 販売価格:サービス業は料金単価。

登録番号 15(297)

## 《規模別景況》

- 規模別業況DIは、「中小規模」「中規模」で前月に比べ5ポイント、3ポイント増となったものの、「大規模」は4ヶ月連続の減少となった。また、「小規模」は前月の悪化後、横ばいに推移している。
- 前年同月比の売上高DIは、「中小規模」のみ前月比2ポイントの悪化となった。一方、「小規模」「中規模」「大規模」はいずれも2～4ポイントの改善となった。やや改善したものの「小規模」は依然、低迷している。
- 今後3ヶ月(12～2月)の業況見通しDIは、「小規模」「中規模」が悪化、「中小規模」「大規模」が改善と対照的な動きとなった。「大規模」は前月の悪化分を戻し、見通しの厳しさが和らいでいる。

## 景況指数表(地域・規模)

・指標値(%):DI=「良い」・「増加」等企業割合-「悪い」・「減少」等企業割合

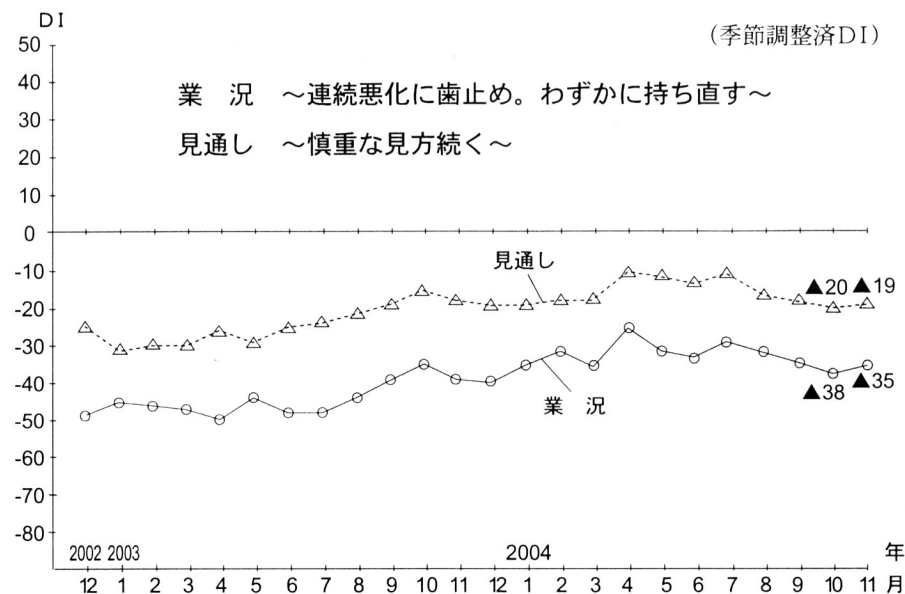
調査規模	調査対象企業数	4,250	11月の景況						今後3ヶ月の見通し		
	回答企業数	1,374	業況	売(前上月比)高	売(前年同月比)高	仕(前月価比)格	販(前月価比)格	製品商品在庫	業(当月比)況	売(当上月比)高	売(前年同月比)高
全体	回答率	32.3%	▲35	▲20	▲32	0	▲10	0	▲19	▲15	▲37
規模	小規模		▲50	▲31	▲48	▲14	▲12	9	▲29	▲29	▲56
	中小規模		▲39	▲18	▲37	1	▲6	4	▲14	▲6	▲36
	中規模		▲26	▲12	▲22	3	▲10	12	▲17	▲13	▲32
	大規模		▲25	▲10	▲13	12	▲9	18	▲10	▲7	▲18

(注)規模区分: 小規模 製造業、卸売業、サービス業(1~9人)、小売業(1~2人)  
 : 中小規模 製造業、卸売業、サービス業(10~19人)、小売業(3~4人)  
 : 中規模 製造業、卸売業、サービス業(20~49人)、小売業(5~19人)  
 : 大規模 製造業、卸売業、サービス業(50人以上)、小売業(20人以上)

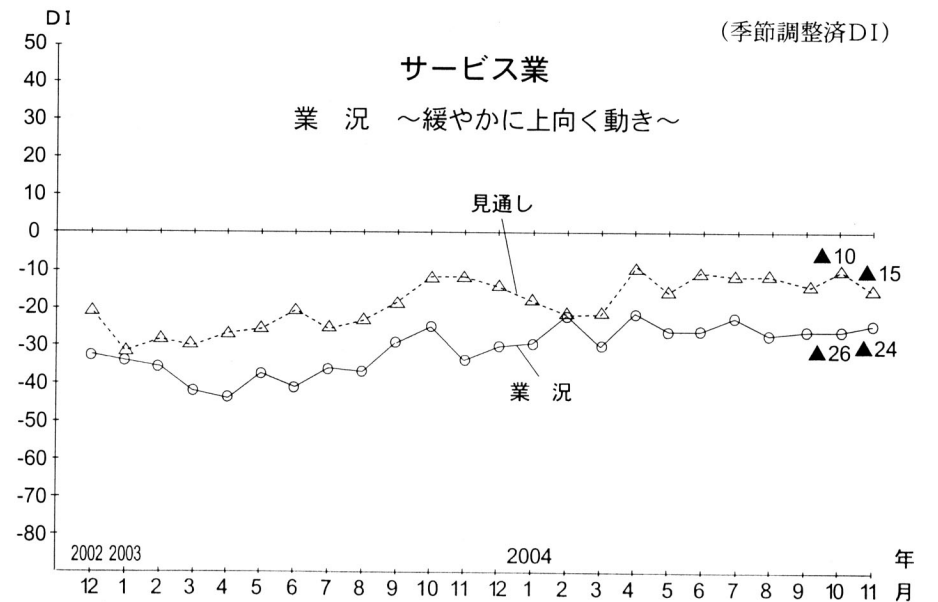
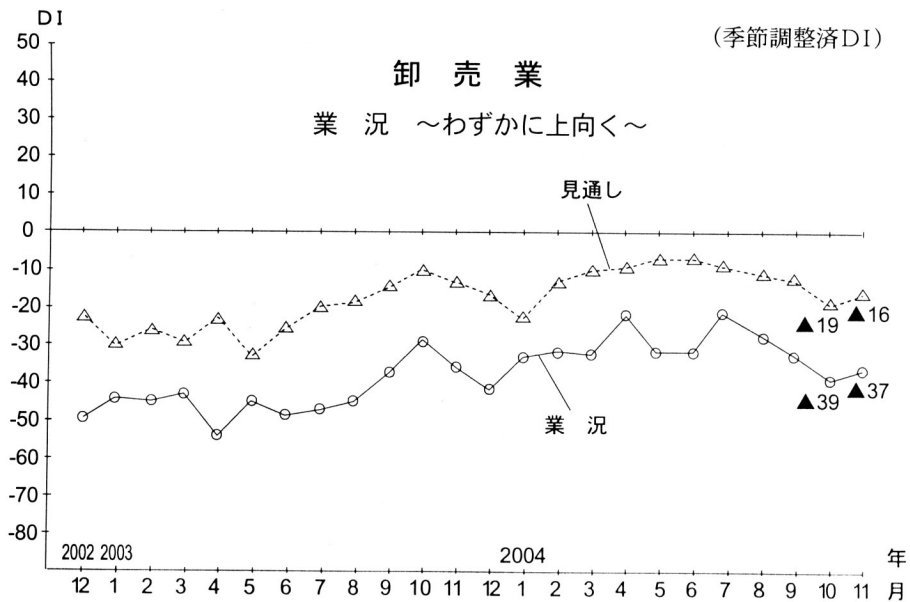
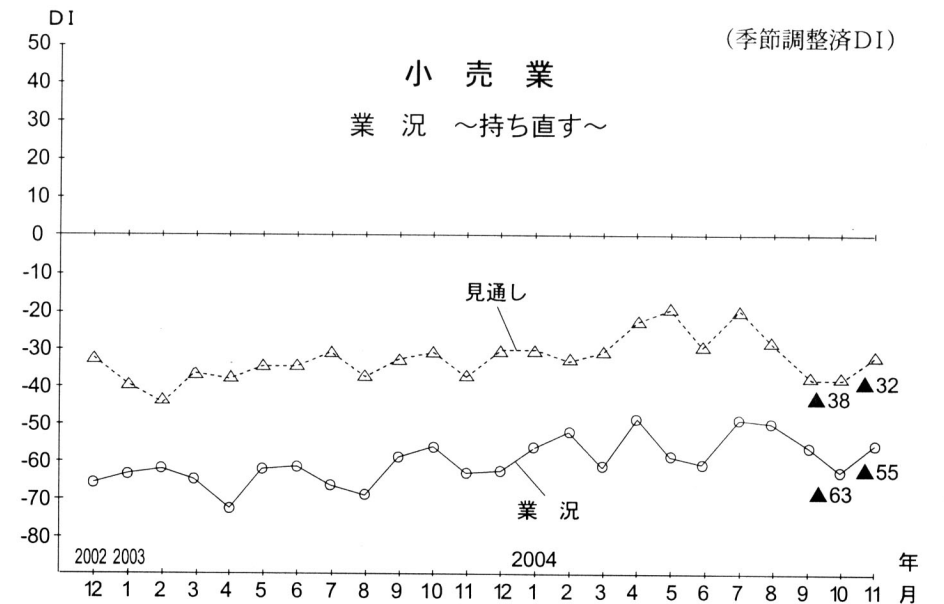
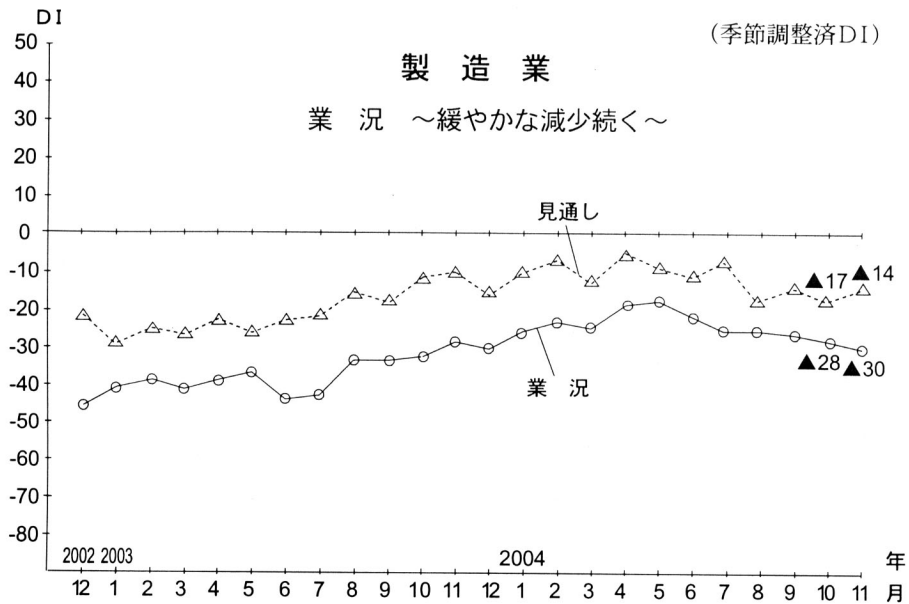
## 回答企業数

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
全体	4,250社	1,374社	32.3%	小規模	906社	366社	40.6%
製造業	1,250社	423社	33.8%	中小規模	588社	252社	42.9%
卸売業	1,000社	362社	36.2%	中規模	720社	304社	42.2%
小売業	1,000社	307社	30.7%	大規模	584社	250社	42.8%
サービス業	1,000社	282社	28.2%	規模不明	1,456社	202社	13.9%

## 全 体



# 業種別

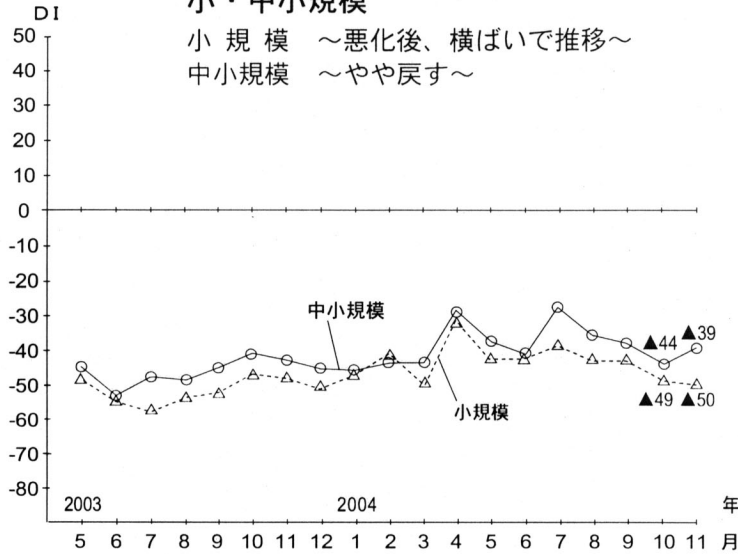


# 規模別

(季節調整済DI)

## 小・中小規模

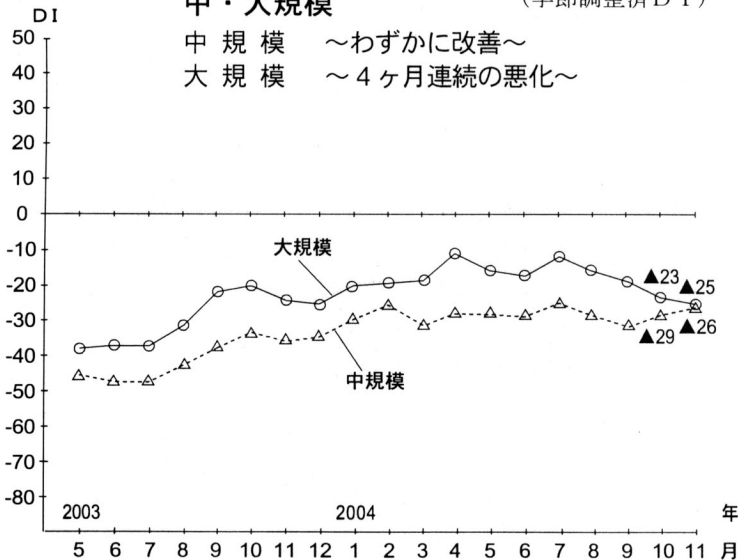
小規模 ~悪化後、横ばいで推移~  
 中小規模 ~やや戻す~



## 中・大規模

(季節調整済DI)

中規模 ~わずかに改善~  
 大規模 ~4ヶ月連続の悪化~



# 【業種別業況動向(DI)】

### ◇ このグラフのみかた

各項目とも0を基準に左右のグラフの長さで業況の「良い」・「悪い」の程度を判断する。ただし◎印は全回答が普通ないしは同様、○印は良い、悪いの回答数が同数を示す。

### ◇ DI (Diffusion Index : 景況判断指数)

指数(%)の算出方法は次のとおりである。

$$DI = \frac{X-Z}{X+Y+Z} \times 100$$

X: 「良い」「増加」「上昇」等の回答企業数

Y: 「普通」「ほぼ同様」等の回答企業数

Z: 「悪化」「減少」「下降」等の回答企業数

従って、DIのプラスは景況の好転(売上の増加等)、マイナスは景況の悪化(売上の減少等)を表している。

製造業			業況					
対象数	回答数	回答率	11月		今後3ヶ月見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
1,250	423	33.8%	-100	0	100	-100	0	100
繊維・衣料 木材 紙 出版 印刷	1. ニット							
	2. 染色整理							
	3. 婦人・子供服							
	4. シャツ・下着							
	5. 装身具							
	6. 家具							
	7. 建具							
	8. 紙製品							
	9. 紙製容器							
	10. 出版							
	11. 一般印刷				◎			
	12. 軽印刷				◎			
	13. スクリーン印刷							
	14. シール・ラベル印刷							
	15. 製版							
	16. 製本							○
	17. 印刷物加工							

製造業			業況					
対象数	回答数	回答率	11月		今後3ヶ月見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
1,250	423	33.8%	-100	0	100	-100	0	100
化学・皮革	18. プラスチック・ガラス							
	19. 工業用ゴム・セメント				○			
	20. 製革(なめし革)							
	21. 製靴							
	22. かばん・袋物							
金属	23. 鉄鋼・非鉄金属							
	24. 刃物・金物			○				
	25. 建築金物			○				
	26. 製缶・板金							
	27. 金属プレス							
材料	28. 金属塗装							
	29. 電気めっき							
	30. ホルト・ナット・ねじ							
	31. ばね						○	
	32. 金属加工機械							
機械	33. 半導体製造装置							
	34. 油圧・空圧機器							
	35. 金型							
	36. 包装・荷造機械				○			
	37. 配電盤							
器具	38. 電気照明器具							
	39. 電子・通信機器							
	40. 電気計測器							
	41. プリント配線板							
	42. 自動車部品							
器具	43. 計量器・試験機							
	44. 医療用機械器具							
	45. 光学機械器具							
	46. 水産食料品							
	47. パン・菓子							
食料品・その他	48. めん類							
	49. 貴金属製品							
	50. 玩具							



卸売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	11 月		今後3ヶ月見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100
1,000	362	36.2%				
衣料・身の回り品	1. 織物					
	2. 紳士服					
	3. 婦人・子供服					
	4. 下着類					
食料品	5. くつ					
	6. かばん・袋物					
	7. 装身具					
	8. 青果・果実					
	9. 食肉					
	10. 生鮮魚介					
	11. 酒類					
	12. 乾物・加工食品					
	13. パン・菓子					
	14. 紙・紙製品					
日用雑貨	15. 家庭用品					
	16. 玩具					
	17. 文具・事務機					
	18. 陶磁器・ガラス器					
	19. 医薬品					
	20. 化粧品					
	21. 木材					
	22. 板ガラス					
	23. セメント建材					
	24. 管工機材					
建築・住宅関連	25. 家具					
	26. 室内装飾品					
	27. 電設資材					
	28. 塗料					
	29. 工業用薬品					
	30. ガラス製品					
	31. ゴム・プラスチック					
	32. 鉄鋼					
	33. 伸銅品					
	34. 鋳螺					
機械器具	35. 金属加工機械器具					
	36. 事務用機械器具					
	37. 機械工具					
	38. 自動車部品					
	39. 医療用器械					
	40. 電気機械器具					

小売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	11 月		今後3ヶ月見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100
1,000	307	30.7%				
衣料・身の回り品	1. 呉服					
	2. 寝具					
	3. 紳士服					
	4. 婦人・子供服					
	5. 洋品雑貨					
	6. くつ					
	7. かばん・袋物					
	8. 中古品					
	9. メガネ・時計					
	10. 食品スーパー					
食料品	11. コンビニエンス・ストア					
	12. 青果・果実					
	13. 食肉					
	14. 鮮魚					
	15. 弁当・惣菜					
	16. 茶・のり					
	17. 酒					
	18. 米穀					
	19. 乾物・加工食品					
	20. パン					
日用品	21. 菓子					
	22. 家庭用品					
	23. 陶磁器・ガラス器					
	24. 医薬品					
	25. 化粧品					
	26. 文具・事務機					
	27. ガソリンスタンド					
	28. ディスカウント・ストア					
	29. 家具・インテリア					
	30. 家電製品					
耐久消費財	31. カメラ					
	32. 貴金属・宝石					
	33. 自転車					
	34. 中古車					
	35. ペットショップ					
	36. 書籍・雑誌					
余暇関連	37. スポーツ用品					
	38. 玩具					
	39. CD・楽器					
	40. 生花・園芸					

サービス業			業 況			
対象数	回答数	回答率	11 月		今後3ヶ月見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100
1,000	282	28.2%				
企業関連サービス	1. 機械修理業					
	2. 各種物品賃貸業					
	3. 映画・ビデオ制作業					
	4. 有線放送業					
	5. ソフトウェア業					
	6. 情報処理サービス業					
	7. 情報提供サービス業					
	8. 広告業					
	9. 建物サービス業					
	10. 民営職業紹介業					
	11. 労働者派遣業					
	12. 警備業					
	13. ディ스플레이業					
	14. 土木建築サービス業					
	15. 産業廃棄物処理業					
	16. デザイン業					
	17. 駐車場業					
	18. 道路貨物運送業					
	19. 倉庫業					
	20. 運輸付帯サービス業					
	21. 港湾運送業					
	22. 産業用機器賃貸業					
	23. 事務用機器賃貸業					
	24. 専門サービス業					
	25. 医療付帯サービス業					
	26. 計量証明業					
	27. リネンサプライ					
	28. 機械設計業					
	29. 非破壊検査業					
個人関連サービス	30. クリーニング					
	31. 理容業					
	32. 美容業					
	33. 飲食店					
	34. 自動車整備業					
	35. 旅館業					
	36. 旅行業					
	37. スポーツ施設提供業					
	38. 遊戯場業					
	39. 冠婚葬祭業					
	40. 不動産関連業					

## 【自由意見記入欄の内容】

景況調査票の自由意見欄に234企業の方から貴重なご意見をいただきました。今回の自由意見の内容を、下記の表のように大きく7つの項目に分類しました。全体では景気動向、業界動向・環境変化に関する意見が多くなっており、また、今回の特徴として原材料の価格上昇に関する意見が多いことがあげられます。

(複数記入)

分類項目	意見数
業界動向・環境変化について	61
景気動向について	117
海外企業との競争の影響等について	18
資金・金融機関等について	10
経営上の課題・経営姿勢について	39
原油・原材料の値上がりについて	10
その他(天候、法律、税制の影響等)	38
計	293

以下に、それぞれの項目の特徴的なご意見について掲載させていただきます。なお、平易な表現への書き換えや一部省略など、多少の修正を加えてあります。

### ①業界動向・環境変化について

- 見積競争による単価下落が年々目立ってきています。(軽印刷業)
- 印刷業者の中でも中小企業の廃業が増えつつある。受注は増えるはずだが、一方で企業各社は印刷機を増やして自社内で印刷を行うため、需要は激減する一方である。(一般印刷業)
- アクセサリー貴金属は上代10万円を境に海外ブランド品に押されているが、銀製品売上げのうち1~3万円の安定と5~8万円の伸びが目立つ。理由は、以前の銀製品愛好者の年齢が上がったから。高額貴金属は良い時悪い時の差が激しい。(貴金属製品製造業)
- 日本そば屋への販売が多いが、昨今廃業などで閉店するところが多くなっており、また、食品の多様化によるそば屋自体の売上の伸び悩み等により、販売実績が落ち込んでいる。(乾物・加工食品卸売業)

- 所属しているカメラ店組合の組合員に転廃業が続き、1800店から500店に激減。デジタル化が急速に進んでいるが、投資が高額でとても続けられない。(カメラ小売業)
- 調剤とOTC(薬局で薬剤師と患者の相談の上販売される、一般用医薬品)の薬局であるが、大型ドラッグストアとの競争でOTCを中心に店頭売上は苦戦している。今後どのような業態にすべきか悩んでいる。この十年で個人経営の薬局、薬店は徒歩10分以内で10軒以上廃業している。調剤がないところは、まず今のままではもたないと思われる。変化への対応が急がれる。(医薬品小売業)
- 建設コンサルタント・土木設計業界も大手集約になりつつありそうです。当社の元請も業務量が減少し、社内消化の傾向です。ますます当社への業務が減ってきています。(土木建築サービス業)

### ②景気動向について

- 縫製業はなぜ毎月仕事が不足しているのか、同業者の人はみんな悩んでいます。(婦人・子供服製造業)
- 携帯電話関連もコストダウン。受注競争激化で厳しい。次のターゲットが見当たらない状況で、先行き不透明。(金属プレス製造業)
- 今年一年は業績不振による専門小売店の廃業等が多く目立つ。今後ますます商店街での消費者離れが増し、灯が消えていくとの不安の声が多い。(パン・菓子卸売業)
- 今年に入っての売上げは去年の半分以下になった。特に5月の連休からが悪い。助かりたい。(医療用器械卸売業)
- 当社は婦人服の卸業ですが、お得意先の小売店、特に路面店の人通りが少なく、売れ行きの悪さから廃業される店が多く本当に困っております。商店街に昔のような賑わいを取り戻してほしい。(婦人・子供服卸売業)
- 11月とはいえ、こう暖かいと冬のウェアが全く売れません。多分12月に入ると大手の店は早々とバーゲンセールをやると思います。やりたくもないバーゲンセールを大手と競いながらやるのはしんどいし、残念です。(スポーツ用品小売業)

- 相変わらず運送部分へのしわ寄せ（割引・値引等）がきている。  
（道路貨物運送業）
- 競合店が4店も増加した上に、多くの人へアートを綺麗にしていないようです。景気も良くないので本年はかなり悪化しそうです。  
（理容業）

### ③海外企業との競争の影響等について

- 今我々の業界は中国・東南アジアの追上げに対抗する為、大変な努力をしています。値段はメーカーより中国値で言ってきます。納期は短く、精度は外国より厳しい。「それでは最新の設備を」と思っても高く、償却ができない。ほとんどの型屋さんは「こんな商売なら止めたほうが楽」という思いで仕事をしております。先週タイに金型の視察に行ってきましたが、日系の会社は工場拡張、設備の増設と大変忙しくやっていました。それを見た人達は「日本の金型産業も終わりに近づいて来たな」と言っていました。本当にそう思えました。  
（金型製造業）
- 我々職人が苦心して「良いデザインを」と加工をして見本を作ったものを、日本の業者が中国や台湾に持って行き、質は劣るものの、その見本と似たものを安い工賃で作り、それを日本で安く売ってしまうと、我々は値段で負けて仕事がなくなり、廃業に追い込まれてしまう。  
（装身具製造業）
- 婦人物のアクセサリ業界ですが、消費が落ち込んだまま、なかなか回復せずにあります。そこに韓国などから安いものが入ってきて、職人さん達がやっていけなくなり、辞めていく人達が増えて困っています。日本製の良い物が作れなくなっていくのは悲しいことです。  
（装身具卸売業）
- 発注元が海外の生産相手に依頼することが多く見られるようになり、売上高に影響を及ぼすようになりました。  
（デザイン業）

- 海外諸国（特にアジア諸国）との競争が始まっていますが、徐々に厳しさが表面化してきています。コスト面では打ちできないので「せめて品質面で」と考えていますが、属人的要素が大きいので難しいところがあります。  
（ソフトウェア業）

### ④資金・金融機関等について

- 保証協会の審査が厳しく、融資が思うようにいきません。  
（家具製造業）
- 金融機関の新商品も多く出て、借入れについては緩和されていますが、利息が5%前後と高めになっている。また10%を超える商品も多数ある。利息の安いものは保証協会付で条件も多く、協会の姿勢はいまだ厳しい。  
（製本業）
- 都市銀行と取引していますが、営業マンが一人もおらず、用事があるときはこちらから出向く。とても付き合いにくくなりました。信用金庫については月に3回ぐらい営業マンが回ってきます。  
（管工機材卸売業）
- 都市銀行が融資の基準を厳格化しているようで、返済は進んでいるのに、新規の借入れに応じようとしないので苦慮している。数字だけで判断し、話を聞いてくれない状況である。  
（鋳造卸売業）

### ⑤経営上の課題・経営姿勢について

- 得意先でまた「カンバン方式」採用が決まりそうで困っています。我々弱小企業泣かせの方式そのもので、「ロット500個、1000個」で見積もらせ、「何日に5個、何日に3個」の短納期・分割納入。少量なので、ある程度の作り置きをしないと、原価割れや納期も守れないこととなります。在庫が多くなるばかりで、そのための資金負担も馬鹿になりません。  
（医療用機械器具製造業）
- 秋口は毎年売上げが落ち込むが、今期は年末から受注増加に向かう予定です。経営課題は、現状社員の能力向上と生産部門のパート化をあげています。  
（染色整理業）

- 当社は業歴40年の産業機械のメーカーである。長期不況の間、赤字経営回避のため人員増を控えた結果、年ごとに社内平均年齢が一歳上昇し、極端な高齢化状態となった。最近の業況改善を好機として、後継技術者の卵の採用活動を再開しているが、若年失業率の高さにもかかわらず、なかなか困難な状況である。

(包装・荷造機械製造業)

- 経営課題は、差別化した新製品の開発である。近年、商品のライフサイクルが短期化傾向にあるため、每期、売上高に占める新製品売上比率30%以上と目標設定をしている。当中間期は34.3%となり達成したが、引き続き新製品売上高比率の維持・拡大を図る。

(水産食料品製造業)

- 当社は住宅の水廻り資材の販売業ですが、建築ブームが去り、厳しい環境下にあります。さらに大企業（ハウスメーカー）の進出とホームセンターとの競合など、営業のノウハウを改革する時期に来ていると考えています。リフォーム分野で生き残りをかけるしかないと考えています。

(管工機材卸売業)

- 収支ギリギリで、その対策として経費節減を続けてきたため、企画等、付加価値を生み出す部門が弱くなり、競争力がそがれ苦しんでいます。

(靴卸売業)

- なかなか若手の人材が集まりません。

(ソフトウェア業)

- 変化のスピードアップについていくのみ。仕事はますます細くなり煩雑化する一方で、収益は減少します。はっきり言えることは、サービスの質に対する要求は高くなるばかり、ということ。それに対応できる企業が選ばれると思う。選ばれる企業を目指します。

(不動産関連業)

## ⑥原油・原材料の値上がりについて

- 原材料が上昇し、売値に転嫁できず苦慮している。市場価格はこちらに関係なく上がっている。しかし我々中小企業は相手がダメと言うと仕事が無くなることを恐れてそれ以上の交渉は難しくなる。いつになったら我々の技術を正当に評価してくれるのだろうか。

(鉄鋼・非鉄金属製造業)

- 原材料（白板紙、洋紙）の値上がりが製品価格に転嫁できない。製紙メーカーの倒産、合併により共同値上げを実施され、国際価格の30~40%高の価格となっている。

(紙製容器製造業)

- 当社は金属塗装業で、受注に基づく加工をやっています。色々な業界から仕事を受けていますが、鉄をはじめとする原材料費高と品薄で、顧客自体が納期に間に合わず受注機会を逃しているようにみえます。また、今後塗料についても原油高の影響で値上げ予告を受けており、利益の圧迫を懸念しています。

(金属塗装業)

- 原油・エチレンの値上がりで材料（プラスチック原料）が3、7、10、12月と4次の値上にもかかわらず、売値が上がらず苦慮しています。

(プラスチック・ガラス製造業)

## ⑦その他 天候の影響、法律・税制の影響等

- 社会保険料と産廃費の上昇、の二つの問題が、本業以外では大きい。

(工業用ゴム・セメント製造業)

- 医療機器業界は17年4月からの改正薬事法に振り回されて滅茶苦茶です。特に人手のない中小企業は大変なことになりそうです。

(医療用器械卸売業)

- 青果卸業は台風と長雨による悪影響から商品価格が高騰し、資金繰りに大きな影響があった。商品不足は来春まで続きそうである。

(青果・果実卸売業)

- 鳥インフルエンザの影響からくる羽毛製品安と、暖冬で物が売れず、厳しい状況です。

(寝具小売業)

- 来期から消費税の簡易課税制度不適用となるので事務が大変だ。

(クリーニング業)